

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合政策室(総合政策担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	海外市場調査支援事業	事業番号	12279

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-11	海外との経済交流の推進
	施策目標	世界に目を向け挑戦するまち	

2 事務事業の目的

目的	根室産品の新たな販路の開拓や外国人観光客の誘致など、グローバルな視点に立った地域の振興策を推進するため、海外に向けた根室市の情報の発信力を強化する。
成果	事業者の海外展開や外国人の観光客誘致はもとより、地域振興全般の推進と国際化の観点から根室市経済を活性化するものと期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	海外市場調査支援員の配置、海外市場調査の実施						
	28	海外市場調査支援員の配置、海外市場調査の実施						
	29	海外市場調査支援員の配置、海外市場調査の実施						
	30	海外市場調査支援員の配置、海外市場調査の実施						
	31	海外市場調査支援員の配置、海外市場調査の実施						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		6,418	6,213	6,213	6,213	6,213	31,270
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	6,418	6,213	6,213	6,213	6,213	31,270
		一般財源						
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		7,792	7,587	7,587	7,587	7,587	38,140	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	輸出に取り組む事業者からの相談件数	77件	100件	120件

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

支援員の業務拡大を図ることにより、企業等に対する支援内容を充実し、企業等における活用事案を増やすことで効率的な運営に努めている。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	国内市場が縮小する中で市内企業がグローバルな視点に立った高度な企業経営の実践が期待される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市内の中小企業における海外市場への情報発信力の強化のための活動が活発化していることから、英語をはじめとする外国語や日本語の高度な語学力を有する者で貿易実務のキャリアを有する高度人材が求められており、海外でのマーケティング支援など、本事業に対する企業ニーズは高い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input checked="" type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 現時点では、民間や経済団体が実施することは難しいものの、将来的には市以外の実施について検討する余地がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 地方都市においても世界に目を向けたグローバルな視点が必要な時代であり、市内事業者の海外展開は急務であることから事業の緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 長期の視点に立った取組みの継続性を考慮すると現状としては、妥当である一方で、後継人材の確保や育成が喫緊の課題となっており、課題に対する認識は市内企業とも共有されている。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 海外の市場調査に関心をもち、地域の国際化推進に熱意を持って取り組めるを雇用しており、ベトナム語、英語、日本語の高度な語学力を有する者で貿易実務のキャリアを有する者を公募により採用している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 支援員の業務拡大を図ることにより、企業等に対する支援内容を充実し、企業等における活用事案を増やすことで効率的な運営を行っている。企業からの相談件数も増加傾向にあり事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画とおり実施】 着実に海外向けの情報発信力の強化に努められたい。なお、後継人材の確保や育成が喫緊の課題であることからこれらの解消に向け対応されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 支援員の業務拡大を図ることにより、企業等に対する支援内容を充実し、企業等における活用事案を増やすことで効率的な運営で単位コストを引き下げよう努める。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合政策室(総合政策担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	輸出促進支援事業	事業番号	12276

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-11	海外との経済交流の推進
	施策目標	世界に目を向け挑戦するまち	

2 事務事業の目的

目的	経済発展の著しいアジア地域において、根室市の高品質で安全な水産物等の輸出を促進し、海外における市場を開拓するとともに、国際ブランドの形成を醸成し、水産事業者をはじめ関係者が一体となってすすめる産地PR国内商談会や海外販売促進などの活動を支援する。
成果	裾野が広い水産業を中心に市中経済の活性化を図るため、海外での販路開拓に向けて意欲的に取り組む事業者等に対し、人材育成や輸出環境の整備を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	アドバイザーの招聘、根室市アジア圏輸出促進協議会への負担金拠出、日本貿易振興機構北海道情報センターへの負担金拠出						
	28	アドバイザーの招聘、根室市アジア圏輸出促進協議会への負担金拠出、日本貿易振興機構北海道情報センターへの負担金拠出						
	29	アドバイザーの招聘、根室市アジア圏輸出促進協議会への負担金拠出、日本貿易振興機構北海道情報センターへの負担金拠出						
	30	アドバイザーの招聘、根室市アジア圏輸出促進協議会への負担金拠出、日本貿易振興機構北海道情報センターへの負担金拠出						
	31	アドバイザーの招聘、根室市アジア圏輸出促進協議会への負担金拠出、日本貿易振興機構北海道情報センターへの負担金拠出						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		4,306	5,637	5,637	5,637	5,637	26,854
	内訳	国庫支出金	4,000					4,000
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	306	5,637	5,637	5,637	5,637	22,854
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
	職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870
総事業費		5,680	7,011	7,011	7,011	7,011	33,724	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	海外販売促進活動実施回数	3回	3回	3回
	招聘バイヤー企業数	8社	8社	8社

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

従来は平成26年度を事業終期と設定していたが、長期的な視点に立った取り組みの継続性を指摘する意見などがあったことから、根室市アジア圏輸出促進協議会関係者の意見も踏まえ、平成31年度まで5ヵ年延長して実施するもの。

5 事務事業の効果について

取り組みに当たって期待される効果など	水産物における国内市場の拡大が見込めない中、海外での販路開拓に向けて意欲的に取り組む事業者を重点的に支援することにより、裾野が広い水産業を中心に根室市経済を活性化するものと期待される。
--------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 輸出の促進の取り組みについては、官民の連携した活動が活発化していることから、本事業に対する企業ニーズは高く、国内販路の開拓と併せて一体的かつ効率的な行政支援の在り方を改善しながら継続して取り組む必要がある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input checked="" type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 生産者をはじめ、加工事業者、金融業界、商工会議所、根室市等がそれぞれ役割分担を明確にした取り組みを展開しており、引き続き、行政主導の偏りが生じないよう留意する必要がある。今後、平成31年度の事業終期までに関係者間での今後の方向性を調整する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 貿易自由化による国境を越えた経済活動や市場の拡大を背景に国際化の進展があらゆる分野で地域社会に大きな影響を与える中で、今後、水産物における国内市場の拡大が見込めない状況においては、根室産水産物の海外での販路開拓は急務であり緊急性を有している。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 生産者をはじめ、加工事業者、金融業界、商工会議所、根室市等がそれぞれ役割分担を明確にした取り組みを展開しており、現時点としては妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 事業実施にあたっては、毎年、事業者に広く参加機会の場を設けながら実施しており概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 継続して事業を実施してきたことにより、海外バイヤー間で根室産水産物の評価は高まりつつある。輸出される水産加工品の種類も増加傾向にあり、事業の有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画とおり実施】 水産物における国内市場の拡大が見込めない状況において根室産水産物の海外での販路開拓は急務であることから、関係者間での意見交換を踏まえながら、効果的な事業実施に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 多くの事業者が取り組みに参画し世界に目を向けた事業展開が出来るよう支援に努める。

作成年度 平成27年度